

尾長会報
ともしび
 地域で作る福祉の町
 発行・文責 地区社協広報部

町内会加入世帯数 4,793 世帯

シニアのためのスマホ講座のご報告
 二葉地域包括支援センター

尾長地区社協と二葉地域包括支援センターの共催で、シニアのためのスマホ講座を11月から4回シリーズで開催しました。

新型コロナの感染拡大に伴い、地域活動がストップしたことにより、仲間と会えない自粛期間に高齢者の元気が低下していると言われています。

そこで、「自宅でユーチューブを見ながらいきいき百歳体操で介護予防」「テレビ電話でつながる」「オンライン診療など、今後の可能性」等を狙い、スマホやタブレットを地域づくりのツールとして活用できるように、この企画を立ちあげました。定員を上回るお申込みをいただき、関心度の高さを痛感しました。講師は、地域包括支援センターだけでなく、区社協等の職員にご協力を仰ぎ、快く受けて下さいました。



反響の大きさを、来年度も開催する方向で検討しています。一緒に取り組んでいただき、ボランティアさんも募集しています。よろしくお願いたします。

パンジーの贈呈式

11月5日(金)、昼休憩に尾長小学校の中庭で、尾長地区の公衆衛生推進協議会の方々から6年生に、また、放課後には二葉中学校においても、矢賀、中山、尾長地区の公衆衛生推進協議会の方々から生徒会執行部の皆さんに毎年恒例のパンジーの苗の贈呈式が行われました。



二葉中学校では「広島平和記念都市建設法」という法律のおかげで、こんなにキレイな花を育てることが出来ると生徒達は知りました。



小学校の栽培委員の児童たちと、二葉中学校の生徒やボランティアの皆さんの協力により、咲いた綺麗な花は、まるで、お世話するみんなの笑顔のようです。

12月6日花植えの様子



コロナで厳しい生活を送る中、少しずつ元の日常が戻りつつあります。このパンジーを育てることで、尾長の町も、町で暮らす人々も元気になる、そんな街づくりを子ども達と一緒に目指していけたらと思っています。



尾長自主防 PTA 防災教室に参加

11月20日
(土) 尾長地区自主
防災連絡協議会が、
尾長小学校 PTA か
らの依頼を受けて尾
長小学校体育館での



「大人と子ども みんなで学ぼう防災教室」に参加
しました。尾長地区の防災組織や尾長小学校が避難
所となった時の様子などの説明を行いました。

この防災教室では、他にも災害への備えや災害
時の過ごし方などについての講義がありました。



簡易ベットは
膨らませて使います

認知症サポーター養成講座

12月7日(火)、二葉地域包括支援センター
が、尾長小学校の4年生を対象に今年度も「認知症
サポーター養成講座」を開催しました。

認知症とはどんな病気なのか、どんなことに困る
のか、などについて説明をされました。



子ども達の感想

◎認知症は、記憶のつぼが小さくなることが
原因なことがわかりました。やさしく、おど
ろかせないように、急がせないように認知症
の人にかかわってみたいです。

◎もし認知症の人がこまっていたら、やさし
く声をかけてあげようと思いました。認知症
の人だけにやさしくしたりするのではなく、
いろいろな人にやったらいいということもわ
かりました。

◎日本は高れい化が進んでいるけど、子ども
や大人たちがサポートしてあげれば、高れい
者の人は、安心してくらすることがわかりま
した。

11月17日(水) 二葉中学校3年生の体育大会

秋空の下、2年ぶりの
ソーランFUTABA



10月28日(木) 尾長小の体育参観日

1年 徒競走

3年 ソーラン



6年 団体演技